

～本校で屈指の伝統を誇る茶道部へようこそ～

1. 流派

私たちは、大日本茶道学会に所属しています。

大日本茶道学会は、明治31年（1898年）4月、京都の高台寺で田中仙樵（たなかせんしょう）によって創立され、同43年（1910年）東京に活動の拠点を移しました。初代の会長は、禅学家で陸軍中將でもあった子爵・鳥尾小弥太（とりおこやた、号得庵居士）です。



2. 特別講師の先生

戸倉哲仙先生（大日本茶道学会宇都宮支部 支部長）

ご指導のもと、62名で活動しています。

3. 活動内容

（1）活動日一隔週木曜日の放課後3：30～5：00

<お稽古の様子>

（2）活動場所一家庭科特別教室の本格的な13帖敷き茶室と4・5帖敷き茶室（水屋や路地腰掛もあります）および80帖敷きの大和室を使用してお稽古をします。

（3）お稽古の内容一歩き方や袱紗（ふくさ）のさばきかたなど、入門編からはじめます。

4. 部長からひとこと

男体山が見える4階の大広間でのお稽古は活気に溢れています。男子部員も増えてきており、先輩後輩を問わず会話も弾みます。奥のお茶室及び、2部屋の和室の前には手水（ちょうず）がしつらえられ、にじり口も設置されており、気持ちが引き締まります。海外から来てくださる方々との交流も楽しみのひとつです。着物の着付けなども一緒に体験してもらっています。一服のお抹茶と茶菓を楽しむひとときは格別です。

また、三年間部活動に熱心に参加すると、お免状がいただけるのも茶道部ならではの特典です。

皆さんも是非、眺めの良い茶室で、私たちと一緒に日本の伝統文化を学んでみませんか。



<学校祭の様子>